様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	662	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	市道２４－００３号線等（妻子原地先）の改良		
	②部課名	建設部・道路課			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	■我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　□全市
	⑤事業期間	平成１８年度　～　平成２７年度		⑥担当職員数	8 人　（換算人数　0.27 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	93,348 千円	当該(開始)年度	（当　初）3,411 千円　（うち人件費　2,511 千円）
					（変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2)目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭隘道路の解消や踏切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めるとともに、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。また、引き続き、東日本大震災による液状化等により被害を受けた道路の復旧工事を進めます。		事業目的	すれ違いのできない、道路での安全性を高めるため。
(3)事業内容	内　容	国道６号線と天王台駅北口（柴崎台地区）方面を結んでいる市道２４－００３号線の拡幅整備を行い、安全で円滑な通行を確保する。これに接続する市道１４－０４３号線の未拡幅部分の整備を行う。 整備計画延長　Ｌ　＝　161　ｍ 計画幅員　Ｂ　＝　7.0　ｍ　（現況：3.64m）		当該年度執行計画	８月～３月　市道２４－００３号線の整備手法の検討 ４月～８月　市道２４－００３号線測量・概略設計
				当該年度活動結果指標	市道２４－００３号線の整備検討完了　単位：式　想定値：1　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	市道２４－００３号線の整備手法完了。	直接	市道２４－００３号線の整備手法完了	式	0	1
３年後	用地買収等行う。	直接	工事準備の進捗率		0	100
最終(概ね５年後)	工事を完了させる。	直接	工事完了率		0	100

(7)事業実施上の課題と対応	拡幅に伴い、本道路の交通量がさらに増加し、歩行者や沿道居住者の安全性に対する課題が発生する。また、当該道路には、東京電力の特高ケーブルが埋設されており、整備方法によってはケーブル防護に多大な費用を要することが想定される。（防護費用は未計上）	代替案検討	○有　●無

(8)施行事項

	平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
	政策 内容	金額(千円)	政策 内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策 内容	金額(千円)	政策 内容	金額(千円)
実施内容	＊ １４－０４３号線用地不動産鑑定 ＊ １４－０４３号線用地買収 ＊ １４－０４３号線拡幅工事 ＊ ２４－００３号線整備手法検討	400 5,115 11,000	＊ ２４－００３号線整備手法の検討 ＊ 路線測量 ＊ 概略設計	450 450		＊ ２４－００３号線用地買収 ＊ ２４－００３号線不動産鑑定	10,000 1,000	＊ ２４－００３号線拡幅工事	50,000
費　用 予算(済)額	合　計	16,515	合　計	900		合　計	11,000	合　計	50,000

(9)財源内訳		平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
	国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
	一般財源		16,515		900			11,000		50,000
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
(10)人件費等	換算人数(人)		0.08		0.27			0.12		0
	正職員人件費		744		2,511			1,116		0
	嘱託職員報酬額		0		0			0		0
	臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)			17,259		3,411			12,116		50,000
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		191.77千円／ｍ		3,411千円／式						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	都市計画道路３．５．１８号後畑・巻の内線の延長上に位置する市道２４－００3号線は、国道６号線と天王台駅北口（柴崎台地区）方面を結ぶ道路として、通行量が多い。 しかし、国道６号交差点付近（我孫子字妻子原地先）は、幅員が２間（３．６４ｍ）程しかなく、すれ違いが困難な状況にあり、通行に支障が出ている。 このため安全で円滑な通行を確保するため、拡幅整備が必要となっている。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した具体的な内容： 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(式)：0 目標値(b)(式)：1 目標値の妥当性のチェック：■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(式)： 達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円)：3,411 事業費削減額(d)(千円)：13,848 事業費削減率(%)：80.24 実施予定の対策：□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.03　単位：式　費用単位：10万円 計算方法：○①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ●②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向